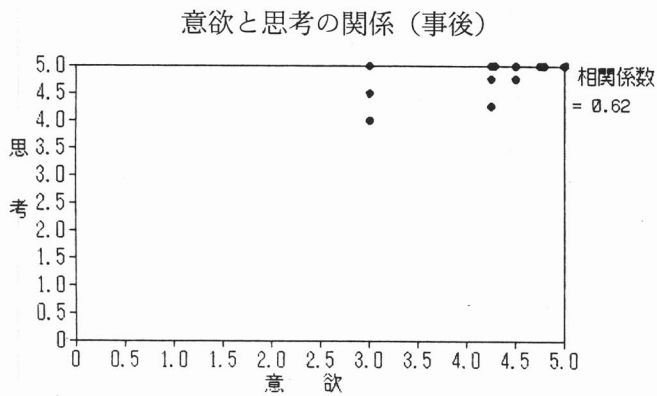


傾向が強くなっている。

2 関心、意欲、思考と事後テスト成績の関係

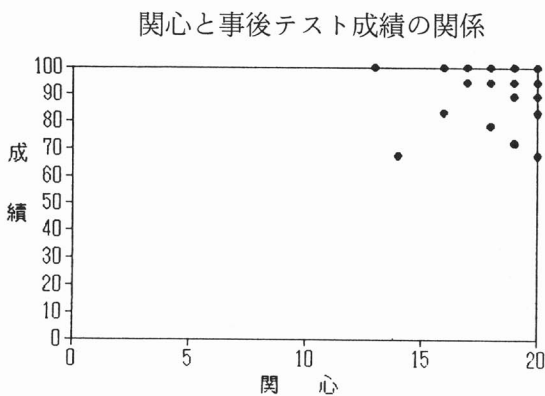
関心、意欲、思考にかかわる内容を自己評価「授業にのぞむにあたって」「授業をふりかえって」によって、検証授業の3時間目（事前）と12時間目（事後）に調査した。選択項目を5段階にし5点、4点、3点、2点、1点として数値化し、平均した。

(1) 意欲と思考の関係

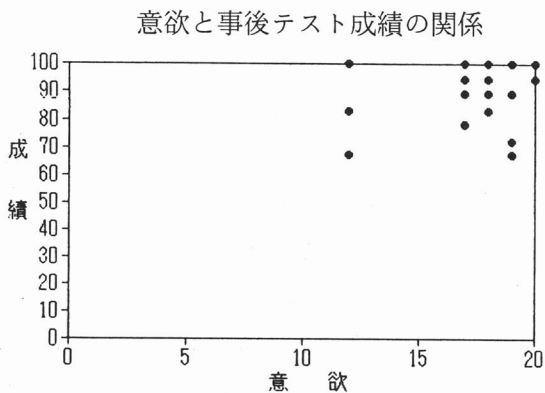


意欲と思考の間には、高い相関が見られる。

(2) 関心と事後テスト成績の関係

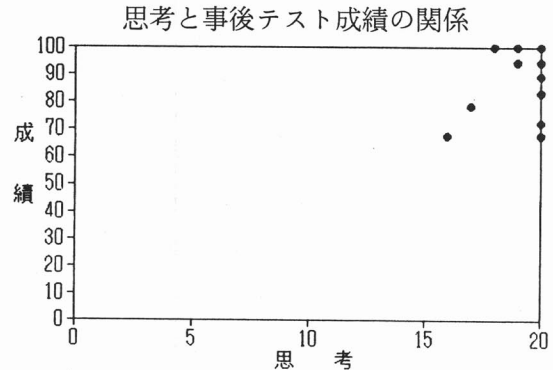


(3) 意欲と事後テスト成績の関係



ほとんどの児童の関心、意欲が高く、成績も高い傾向になっていることがわかる。

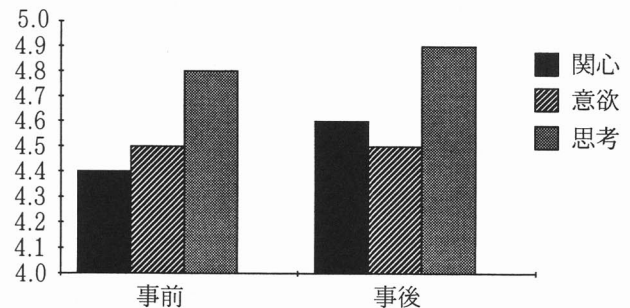
(4) 思考と事後テスト成績の関係



思考は、項目を数値化し、合計した。ほとんどの児童の思考が高まり、成績も高まっている。

(5) 関心、意欲、思考の変容

関心、意欲、思考の変容（学級平均）

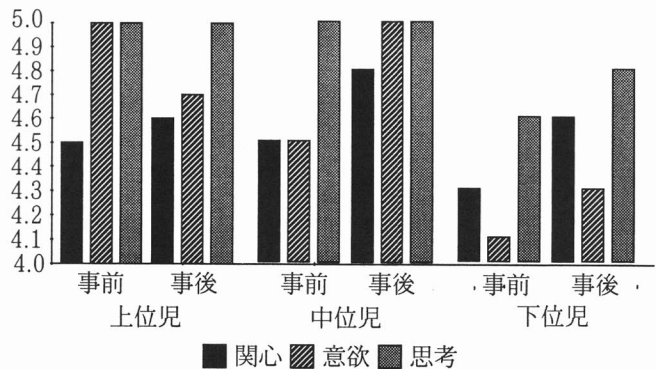


この学級の関心、意欲、思考は事前から4の段階以上でもともと高い傾向にある。

関心、思考が高まり、意欲が持続されており、情意面が活性化されたことがわかる。

(6) 抽出児の関心、意欲、思考の変容

関心、意欲、思考の変容（上・中・下位平均）



上・中・下位児の関心、意欲、思考の高まりが見られる。特に上位・中位児では関心より意欲、思考が高く、下位児では、意欲が低い。